

2023年度 事業報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

(敬称略)

第1 事業の報告

1 「公益目的事業」(公1)の実施状況

(1) 鑑賞会事業—芸術文化に関する鑑賞会の開催(定款第4条第1項)

事業収入なし

鑑賞会事業支出(予算) 2,330,000円

鑑賞会事業支出(決算) 2,928,785円

*うち報償費(出演料・出展者報酬) 1,120,000円

A 「音楽鑑賞会」の開催(すべて入場料無料)

- ① 北海道を代表する円熟芸術家の鑑賞会シリーズのコンサートを1回開催した。(主催)
 - ②～⑦ 北海道の音楽家による、クラシック音楽ファン拡大を目的とした「オトナのためのコンサート」を6回開催した。(主催)
 - ⑧～⑩ 道立美術館を会場に北海道の若手音楽家(公募)によるコンサートを3回開催した。(共催)
 - ⑪ 後志地区5か所の美術館で、北海道の音楽家(公募)によるコンサートを5回開催した。(共催)
- 各事業詳細は以下のとおり。

① 【道銀文化財団 ARTIST BANK 2023 北海道銀行本店ロビーコンサート】

文屋治実チェロコンサート 大地の響き

日時: 2023年10月11日(水) / 18:00～18:40

会場: 北海道銀行本店営業部ロビー

出演: 文屋治実(チェロ/第1回奨励賞受賞者)、新堀聡子(ピアノ)

入場数: 200名

内容: 北海道の音楽界を牽引してきた音楽家を招いてのコンサートシリーズ第4回目。レリーフ「大地」に寄せて、本シリーズ最後のコンサートを圧巻の演奏で飾り、会場全体が感動に包まれた思い出深い一夜となった。

② 【道銀文化財団 CLASSIC ♪ FAN#5 北海道銀行本店ロビーコンサート】

Trio Celeste 世界を巡る旅

日時: 2023年6月19日(月) / 18:00～18:40

出演: 大島さゆり(フルート)、坂本夕佳(ヴァイオリン)、山下ヤスシ(アコーディオン)

入場数: 188名

③ 【道銀文化財団 CLASSIC ♪ FAN#6 北海道銀行本店ロビーコンサート】

多種多彩な打楽器が奏でる音の世界

日時: 2023年6月20日(火) / 18:00～18:40

出演: 白戸達也、上野岳(ともに打楽器)

入場数: 100名

④ 【道銀文化財団 CLASSIC ♪ FAN#7 北海道銀行本店ロビーコンサート】

笑う門には福が来る!?

日時: 2023年12月5日(火) / 18:00～18:40

出演: 大久保光哉(バリトン)、大久保咲恵子(ピアノ)

入場数: 116名

⑤ 【道銀文化財団 CLASSIC ♪ FAN#8 北海道銀行本店ロビーコンサート】

4手で織りなすピアノの響き

日時: 2023年12月6日(水) / 18:00～18:40

出演: 鈴木飛鳥、坂田朋優(ともにピアノ)

入場数: 140名

⑥ 【道銀文化財団 CLASSIC ♪ FAN#9 北海道銀行本店ロビーコンサート】

花鳥風月～人の心、自然の心～

日時: 2024年3月14日(木) / 18:00～18:40

出演: 三輪主恭(バリトン/第33回奨励賞受賞者)、三輪栞(ピアノ)

入場数: 200名

⑦【道銀文化財団 CLASSIC ♪ FAN#10 北海道銀行本店ロビーコンサート】
クラリネットとピアノ～ブラムスへのオマージュ～

日 時：2024年3月15日(金) / 18:00～18:40

出 演：河野泰幸(クラリネット)、岡本孝慈(ピアノ / 第21回奨励賞受賞者)

入場数：200名

②～⑦ (共通)

会 場：北海道銀行本店営業部ロビー

内 容：演奏内容と楽器構成にスポットをあてたコンサートシリーズのため、毎回違った面白さがあり、このシリーズのファンは確実に定着している。

親しみやすいプログラムと個性あふれる演出に来場者も満足し、演奏家にとっても観客の反応を身近に感じられる貴重な演奏機会となった。

⑧【Art Ensemble # 18 北海道立釧路芸術館 開館 25 周年記念コンサート】
シューマンたちが夢見たおとぎ話

日 時：2023年11月4日(土) / 14:00～14:40

会 場：北海道立釧路芸術館 アートホール

出 演：柴恵(ヴィオラ)、武田匡広(クラリネット)、立岡洵(ピアノ)

選 考：釧路・根室管内出身もしくは在住の若手音楽家(グループ)を公募により選考した。

入場数：106名(事前予約・整理券配布)

内 容：北見市、根室市、別海町に在住の若手音楽家によるピアノトリオが出演。旗揚げ公演として、こだわりぬいたプログラムと気迫あふれる演奏が来場者から好評を得た。

⑨【Art Ensemble # 19 北海道立近代美術館コンサート】美術展鑑賞付き
歌で紡ぐ うららかな物語

日 時：2024年3月2日(土) / 18:30～19:10

出 演：櫻井彩乃(ソプラノ)、大野祐司(バリトン)、山田結花(ピアノ)

入場数：109名(120席限定・はがきによる抽選)

⑩【Art Ensemble # 20 北海道立近代美術館コンサート】美術展鑑賞付き
夜空に響くピアノデュオ～きらめく音の贈りもの～

日 時：2024年3月8日(金) / 18:30～19:10

出 演：川辺美穂、杉原彩香(ともにピアノ)

入場数：114名(120席限定・はがきによる抽選)

⑨～⑩ (共通)

選 考：北海道在住の若手音楽家(グループ)を公募により選考した。

会 場：北海道立近代美術館 1階ホール

内 容：閉館後の美術館を貸切り、美術展鑑賞後にコンサート開催した。

美術展入場券は240名/2回分を財団が買い上げて来場者を無料招待した。

選りすぐりのプログラムにトークを交え、来場者はフレッシュな演奏を楽しんだ。

⑪【しりべしミュージアムロード・コンサート 2023】
フルート四重奏による魅惑のサウンド“色彩と調和”

日 時：2023年7月22日(土)3回、23日(日)2回

会 場：小川原脩記念美術館、有島記念館、木田金次郎美術館、(一財)荒井記念美術館、西村計雄記念美術館

出 演：HIKAY Quartet(ヒカイカルテット) 代表：山田慶一(チェロ)

按田佳央理(フルート)、林ひかる(ヴァイオリン)、今井佑佳(ヴィオラ)

選 考：北海道在住の音楽家(グループ)を公募により選考した。

2019年に選考したがコロナ禍により延期していた。

入場数：322名(5館計)

内 容：開催5館と財団が実行委員会を組織して共催により開催。

4年ぶりのコンサート開催を待ちわびた来場者も多く、本シリーズが地元で定着したイベントになっていたことがうかがえた。

出演者の日程調整含め、選考から開催までの準備期間が短く音楽家に負担が大きいことから、今後は、年度初めに次年度の出演者を募集・選考し、1年間の準備期間を設けることを実行委員会で決定した。

B 「美術鑑賞会」の開催（すべて入場料無料）

- ① 北海道を代表する円熟芸術家の鑑賞会シリーズの美術展を1回開催した。（主催）
 - ② 北海道の美術家による、立体造形作品（インスタレーション）展を1回開催した。（主催）
 - ③ ギャラリーの休館期間を活用し、北海道の美術家による個展を1回開催した。
 - ④～⑥ 北海道銀行本店ロビーにおいて、北海道で美術を学ぶ高校生や美術教諭の作品展を3回開催した（主催）
 - ⑦～⑧ 北海道銀行本・支店ロビーにおいて、北海道で美術を学ぶ学生や高校美術部生の作品展を通年で開催した。（共催）
- 各事業詳細は以下のとおり。

①【道銀文化財団 ARTIST BANK 2023 北海道銀行本店ロビー展】

浅井憲一鉄彫刻展「僕のおもちゃ箱」

会 期：2023年8月23日(水)～10月5日(木) / 平日9:00～15:00

会 場：北海道銀行本店営業部ロビー

出展者：浅井憲一（鉄彫刻家）

内 容：北海道の美術界を牽引してきた美術家を招いての個展シリーズ第6回目。
鉄彫刻家が、自身の初個展の風景を本店ロビーにイメージし、壮大なインスタレーション作品として異空間を創造した。目の前にごく自然に現れる彫刻作品に、鑑賞者は新鮮な驚きを感じるユニークな美術展となった。

②【道銀文化財団企画展 ■CUBE■2023】

河口真哉「僕の居場所。」

会 期：2023年12月13日(水)～2024年2月3日(土) / 年末年始を除く

照明点灯時間 7:00～20:00 / ギャラリーの外からガラス越しの鑑賞

会 場：「らいらっく・ぎやらりい」(北海道銀行本店ビル1階)

出展者：河口真哉（インスタレーション作家）

内 容：空間造形を手掛ける美術家による、インスタレーション作品展シリーズの第10回目。
今年度は特別に会期を延長し、ほぼ毎週展示替えを行った。空間の特性と会期の長さは作家の創作意欲を掻き立て、作家にとっても貴重な経験となった。

③【道銀文化財団 ARTIST FILE】

駒澤千波個展「そのあわいに、」

会 期：前期 2023年11月13日(月)～2024年1月19日(金) / 年末年始を除く

後期 2024年1月21日(日)～3月30日(土)

公開時間 7:00～21:00 (ATM 稼働時間)

会 場：札幌駅前支店「道銀ミニ・ギャラリー」(ATM コーナー併設のオープンスペース)

出展者：駒澤千波（日本画家）

内 容：会期を二分して間に展示替えを行った。

日本画作品をオープンスペースに長期展示することは本来は展示環境として難しいが、作家の寛大な理解と協力により、日本画展をじっくりと味わう展示となった。

④【北海道銀行本店ロビー展】

現在(いま)を見つめる眼 Vol.18～高文連石狩支部美術顧問展

会 期：2023年7月27日(木)～8月14日(月) / 平日9:00～15:00

会 場：北海道銀行本店営業部ロビー

出展者：北海道札幌北陵高等学校他、高文連石狩支部所属の美術教諭有志10名

内 容：夏休みに開催する高文連石狩支部大会に合わせ、開催した。

大会期間中は生徒たちの研修ルートになった。普段指導を受ける教諭が美術家としての顔を持ち作品を制作していることに刺激を受けた生徒もみられた。

生徒たちは本店レリーフ「大地」や彫刻も併せて鑑賞した。

⑤【北海道銀行本店ロビー展】

現在(いま)を見つめる眼 Vol.19 北海道江別高等学校作品展～ダンボールからアートへ～

会 期：2023年12月11日(月)～12月28日(木) / 平日9:00～15:00

会 場：北海道銀行本店営業部ロビー

出展者：北海道江別高等学校2年生（芸術科美術選択者36名）

内 容：大麻支店に通年で展示を継続している同校生徒のエネルギーでユーモラスなPOPアート作品を展示し、来場者は一つ一つ足を止め作品鑑賞を楽しんだ。

自らの創作作品を公共の場で発表できたことは生徒にとって大きな自信につながった。

⑥【北海道銀行本店ロビー展】

現在(いま)を見つめる眼 Vol.20 ～全国にはばたく北海道の高校生たち

会 期：2024年1月4日(木)～3月29日(金) / 平日9:00～15:00

会 場：北海道銀行本店営業部ロビー

出展校：北海道札幌東高等学校、留萌高校他、道内高等学校計10校

内 容：2024年度高文連全国高等学校総合文化祭美術工芸部門に推薦された絵画10点を展示し、多くの道民が高校生作品の芸術性の高さに感動した。美術部生徒の創作活動への励みとなる発表の機会を提供した。例年通り、全作品には特注の木製額縁を贈呈した。

⑦【北海道銀行本店ロビー展】

大学・美術学院学生展

会 期：2023年4月～11月 / 平日9:00～15:00

会 場：北海道銀行本店営業部ロビー

出展校：札幌大谷大学、札幌武蔵野美術学院、星槎道都大学、北翔大学、北海道教育大学岩見沢校

内 容：公募展受賞作品など各校の選抜作品を、公共の場ともいふべき銀行ロビーで展示し、より身近に道民が美術鑑賞を楽しむことができた。道内で美術を学ぶ学生たちの創作活動への励みとなる発表の機会を提供した。授業の一環として利用する大学もあり、学生への学びの場の提供にもつながった。

⑧【北海道銀行支店ロビー展】

高校美術部の生徒作品展

会 期：通年 / 平日9:00～15:00

会 場：宮の森パーソナル支店一札幌西高等学校

出展校 屯田パーソナル支店一札幌北陵高等学校

旭ヶ丘支店一市立札幌旭丘高等学校

白石支店一札幌啓成高等学校(以上札幌市)

大麻支店一大麻高等学校・江別高等学校(江別市)

岩内支店一岩内高等学校(岩内町)

内 容：支店ロビーに各校美術部生徒の作品1～2点ずつをイーゼルにのせて展示し、概ね1か月ごとに作品を入れ替えた。多くの地域住民が地元の高校生の感性豊かな作品を鑑賞した。鑑賞者にとっては、新しい作品を楽しみに来店し、美術部生徒も展示を目標に意欲を持って取り組み、創作活動への励みとなる発表の機会を提供した。

(2) 助成事業—その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第4項)

	事業収入なし
助成事業支出(予 算)	2,440,000 円
助成事業支出(決 算)	2,144,645 円
* うち助成金	2,040,000 円

北海道を拠点に活動する芸術家や芸術文化団体を対象に、その優れた芸術創作活動を支援するために「道銀芸術文化助成金」を交付した。

A【2023年度事業—助成金交付・立ち合い／視察】

決定した助成対象先46件中、42件に助成金を交付した。

4件は申請者の都合により辞退の申し出があった。

B【2024年度事業—公募・選考】

公 募：2023年10月25日～12月25日

選考委員会：2024年1月26日(金)、北海道銀行本店ビル2階会議室にて開催

音楽部門 前川公美夫(選考委員長)、八木幸三、

美術部門 國松明日香(選考副委員長)、柴勤(以上4名)

応募総数：60件(音楽部門40件、美術部門20件)

選考の結果：39件(音楽部門24件、美術部門15件)を選出、内定。

決 定：対象先と助成金額は2023年度第3回理事会で決定した。

(3) 奨励事業—芸術文化に関する優れた活動を行うものに対する顕彰（定款第4条第2項）

	事業収入なし
奨励事業支出(予 算)	1,225,000 円
奨励事業支出(決 算)	1,193,965 円
*うち賞金	1,000,000 円

優れた芸術文化活動により将来を嘱望され、北海道の芸術文化の進展に貢献する芸術家に対して「道銀芸術文化奨励賞」を贈呈し、賞金を授与した。

A 【2023年度 第33回 道銀芸術文化奨励賞 選考委員会】

開催日：2023年10月18日(水)
会場：北海道銀行別館ビル1階会議室
出席：音楽部門 前川公美夫（選考委員長）、八木幸三、本堂知彦
美術部門 柴勤（選考副委員長）、土岐美由紀、佐藤康平 以上6名
選考結果：2023年度第3回理事会で報告のとおり

B 【2023年度 第33回 道銀芸術文化奨励賞 贈呈式】

開催日：2024年2月21日(水)
会場：北海道銀行本店ビル4階会議室
受賞者：音楽部門 三輪主恭（バリトン）
美術部門 水野剛志（日本画）
なお、音楽部門受賞者は2024年5月17日開催「道銀ライラックコンサート」にて札幌交響楽団と共演した。美術部門受賞者の受賞記念展は2024年2月に開催した。（ギャラリー事業）

(4) ギャラリー事業—芸術文化に関する創作発表と鑑賞機会提供のための施設の管理運営

(定款第4条第3項)

ギャラリー事業収入(予 算)	840,000 円
ギャラリー事業収入(決 算)	906,000 円
ギャラリー事業支出(予 算)	485,000 円
ギャラリー事業支出(決 算)	171,678 円

北海道銀行から施設の無償貸与を受け、北海道銀行本店ビル1階の「らいらっく・ぎやらりい」と札幌駅前支店「道銀 ミニ・ギャラリー」を運営した。

なお、いずれもビルの建て替えに伴い、2024年3月末をもって「らいらっく・ぎやらりい」は移転、「道銀 ミニ・ギャラリー」は閉館した。

A 「らいらっく・ぎやらりい」

① 一般利用者への貸し出し

予約を先着にて受付け、34週の個展、グループ展等へ貸出した。
貸館利用は2023年12月10日をもって終了した。

② 【第33回 道銀芸術文化奨励賞受賞記念展】

水野剛志展

会 期：2024年2月10日(土)～2月25日(日) / 10:00～18:00

内 容：奨励賞受賞を記念して個展を開催した。

作家がテーマとする北海道の山と高山植物を描いた日本画を展示した。

入場数：581名

③ 移転オープンに向けた準備

新たな利用規程の策定やホームページの改修準備などを行った。

B 札幌駅前支店「道銀 ミニ・ギャラリー」

① 一般利用者への貸し出し

予約を先着にて受付け、2週間1単位で13単位の個展、グループ展等へ貸出した。
貸館利用は10月27日をもって終了した。

貸館終了後はそのまま閉館予定だったが、年度末まで使用が可能であることが判明したため、美術家の創作発表機会と道民の芸術鑑賞機会の提供のために美術展を開催した。（鑑賞会事業）

2 「その他事業」(他1)の実施状況

連携支援事業—その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (定款第4条第4項)

	事業収入なし
連携支援事業支出(予算)	300,000円
連携支援事業支出(実績)	300,000円

道内各分野の芸術文化団体の活動を支援するために、その主催する事業に対し協力した。

当年度は公益財団法人札幌交響楽団の演奏活動を支援し、寄附及び協賛をした。

2023年4月 「パトローネージュ会員」年会費一口として200,000円

2023年12月 「新進演奏家育成プロジェクト」協賛金として100,000円

3 事務局の管理・運営(法人会計)の実施状況

	事業収入なし
管理費支出(予算)	395,000円
管理費支出(見通し)	315,659円

各事業の実施に向けた事務局の管理運営を行った。

財団の事業活動の周知を目的にコンサートやセミナーを3回開催した。

いずれの事業も参加者・鑑賞者が限定されることから、鑑賞会事業(公1)には該当しない。

A ほくほく Welcome Concert 2023

日時：2023年4月17日(月) / 15:30~16:00

会場：北海道銀行ほしみ研修センター

出演：倉岡陽都美(ソプラノ/第31回奨励賞受賞者)、鎌倉亮太(ピアノ/第29回同受賞者)

入場数：188名

内容：ほくほくフィナンシャルグループ新入行員研修の一環として、企業メセナと当財団の事業活動の周知を図ることを目的にコンサートを開催した。

オペラアリアから馴染みのある唱歌の他、北陸銀行・北海道銀行の行歌も演奏した。

B 北海道銀行道友会 Thanks Concert 2024

日時：2024年3月16日(土) / 13:30~14:10

会場：北海道銀行本店営業部ロビー

出演：三輪主恭(バリトン/第33回奨励賞受賞者)、三輪栞(ピアノ)

内容：本店ビル最後の年に北海道銀行OB会行事の一環として、企業メセナと当財団の事業活動の周知を図り、今後の財団運営への理解と協力を求めることを目的にコンサートを開催した。

C 北海道美術館協力会 研修部「研修会」

日時：2023年11月16日(木) / 15:30~16:00

会場：北海道銀行本店営業部ロビー

講師：当財団事務局

参加者：(一社)北海道美術館協力会ボランティア研修部12名

内容：研修部より「北海道銀行と道銀文化財団の芸術文化への取り組みについて」をテーマにした研修会への講師派遣依頼を受けて実施した。

閉店後のロビーでレリーフ「大地」と木田金次郎作品「りんご」を前に講演した。

4 2023 年度収支決算 (2024 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

	期初予算	決算	備考
収入合計	6, 577	6, 676	
(公1) 事業費支出	6, 480	6, 439	
(他1) 事業費支出	300	300	
(法) 法人会計支出	395	315	
支出合計	7, 175	7, 054	
当期収支差額	△598	△378	
※ 2023 年度末資産決算 (2024 年 3 月 31 日現在)			
	期初予算	決算	備考
前期繰越金	319, 805	319, 805	
現金預金	4, 630	4, 630	普通預金
特定資産 (公益事業活動資産)	4, 130	4, 130	投資有価証券・定期預金
特定資産 (鑑賞会事業活動資金)	10, 045	10, 045	定期預金
特定資産 (鑑賞会事業準備資金)	1, 000	1, 000	普通預金
基本財産	300, 000	300, 000	投資有価証券・定期預金
次期繰越金	319, 207	325, 312	
現金預金	4, 032	3, 717	普通預金 (前払金含む)
特定資産 (公益事業活動資産)	4, 130	4, 045	投資有価証券・定期預金
特定資産 (鑑賞会事業活動資金)	10, 045	10, 080	定期預金
特定資産 (鑑賞会事業準備資金)	1, 000	1, 500	普通預金
基本財産	300, 000	305, 970	投資有価証券・普通預金

予算に記載した次期繰越金の固定資産額は期中にそれぞれの評価額に変動がないものとして表示する。
 決算に記載した次期繰越金の固定資産額は決算日の市場価格に基づく時価法により算出している。